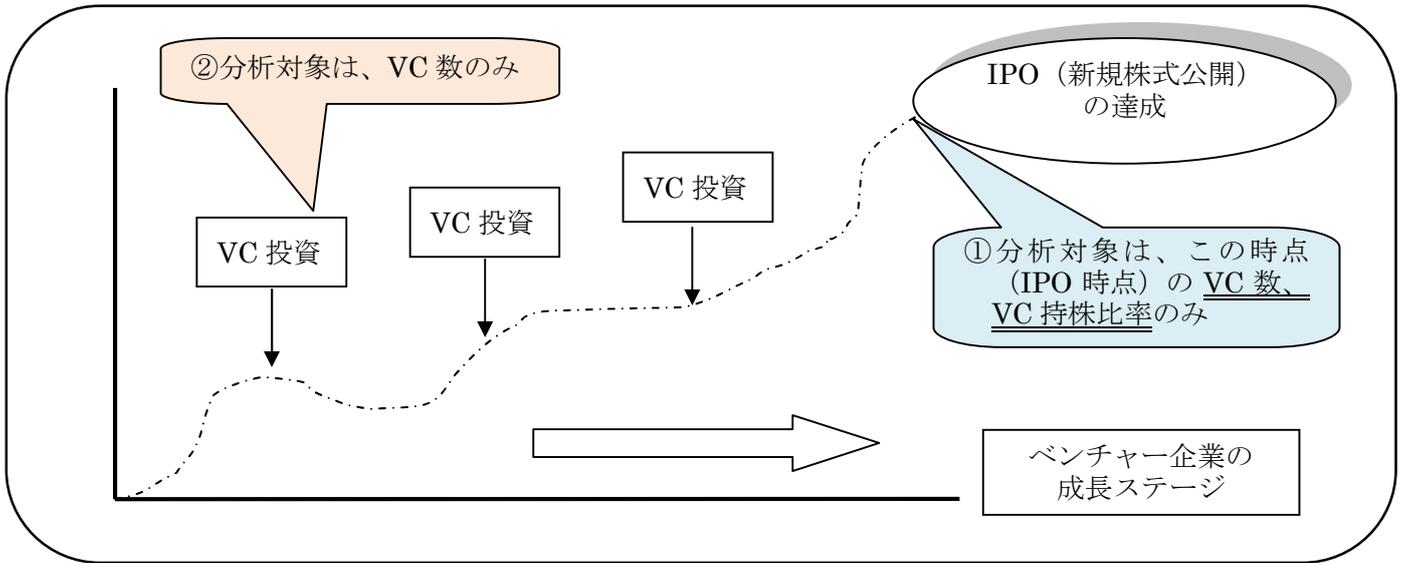


研究課題名 ベンチャー・キャピタル (VC) によるシンジケート投資のリスク分散効果に関する研究

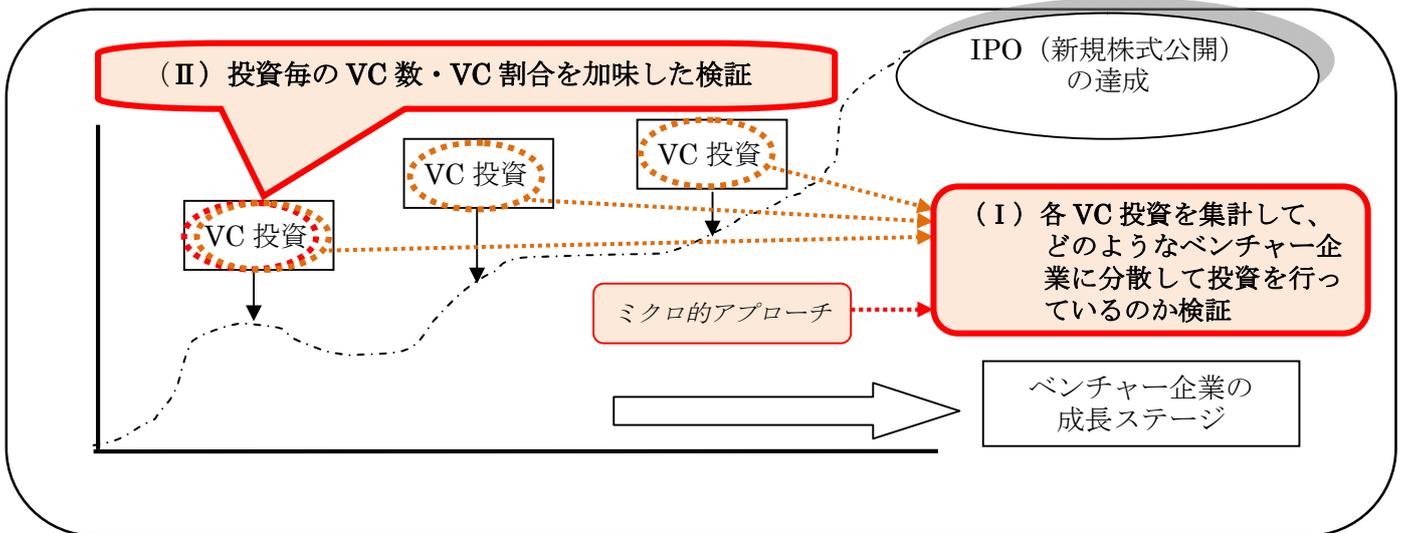
既存のベンチャー・キャピタル (VC) 研究の枠組み



ベンチャー・キャピタル (VC) : 成長期の未公開株に投資する機関投資家で企業への経営支援なども行う  
それぞれの VC 投資は、1 社 (= 単独投資) もしくは複数の VC (= シンジケート投資) によって、実施される

- 問題点① : 日本における研究では、データの制約などから未上場期の投資を正確に捉えてはいない。  
→それぞれの VC 投資が行われるごとの投資状況 (VC 数、持株比率など) を加味する必要性
- 問題点② : 海外の VC 研究でも、投資 VC 数は考慮されているが、VC の投資割合には踏み込んでいない  
→VC にとって、その投資のリスクが分散されているのかどうか検証できていない  
→それぞれの VC による投資割合を加味し、リスクの分散の効果を測定

本研究の枠組み



VC はリスクを分散させるために、シンジケート投資 (複数による共同投資) を行う

仮説の検証

- VC は他の VC に意見を求めるため (Lerner (1994)、幸田 (2013)) だけではなく、リスク分散も目的とした投資を行う
- ベンチャー企業にとっての効率的な VC による資金調達手法を提示